

## 浜松市障がい者自立支援協議会 西・南エリア連絡会

## 第1回全体会 会議録

- 1 開催日時 令和5年6月7日 午前10時00分から午前11時56分
- 2 開催場所 西区役所 3階 大会議室 (Web会議併用)
- 3 出席状況 ※敬称略

構成員	相談支援事業所まで	鈴木 宏幸(会場)
	あさぎり	仲安 寛元(会場)
	四季の郷	早戸 真規(会場)
	好生会三方原病院	平野慎一郎(Web)
	浜松市浜松手をつなぐ育成会(障害者相談員)	伊藤 幸枝(会場)
	ワークショップくるみ	袴田 みや(会場)
	浜松市教育委員会指導課 (SSW)	長坂 聖子 (Web)

事務局	浜松市西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一郎(会場)
		古澤 則仁 (会場)
		長谷 瞳 (会場)
		谷内 俊介 (会場)
		小澤 理沙 (会場)
		大場 拓弥 (会場)
	浜松市西区社会福祉課長	夏目 健一 (会場)
	浜松市西区社会福祉課	杉森 泉 (会場)
	浜松市南区社会福祉課	内藤 淳 (会場)

オブザーバー	浜松市障がい者基幹相談支援センター	山下 由佳 (会場)
		大軒 優一 (会場)

## &lt;欠席者&gt;

構成員	浜松自立支援センター(障害者相談員)	水島 秀俊
	新津地区民生・児童委員協議会	澤根 緑
	可美地区社会福祉協議会	太田 智子

4 傍 聴 者 14名

- 5 議 事 内 容
- 1 浜松市障がい者自立支援協議会報告
  - 2 日中サービス支援型共同生活援助意見交換会報告
  - 3 地域体制強化共同支援会議報告
  - 4 浜松市障がい者自立支援協議会第三者評価報告
  - 5 令和4年度西・南障がい者相談支援センター実績報告
  - 6 令和5年度西・南エリア連絡会活動計画案
  - 7 その他の協議事項

6 会議録作成者 浜松市南区社会福祉課障害福祉グループ 内藤 淳

7 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 有・

## 8 会 議 記 録

1 開 会 司会 浜松市西・南障がい者相談支援センター 古澤 則仁

### 2 議 事

(1) 浜松市障がい者自立支援協議会報告

資料に基づき説明

※質疑応答無し

(2) 日中サービス支援型共同生活援助意見交換会報告

資料に基づき説明

※質疑応答無し

(3) 地域体制強化共同支援会議報告

資料に基づき説明

※質疑応答無し

(4) 浜松市障がい者自立支援協議会第三者評価報告

<主な報告内容>

- ・会議体の位置づけについて、構成員の方々の理解が十分得られていない。
- ・浜松市西・南障がい者相談支援センターが西区に位置していることから、南区の構成員との連携が難しい。

- ・評価の内容は、市ホームページにて閲覧が可能。

※質疑応答無し

(5) 令和4年度西・南障がい者相談支援センター実績報告  
資料に基づき説明

<質疑応答>

- ・実績報告として、相談内容をどう振り分けているのか。複合化しているケースもあるはず。
  - 主たる相談内容で分類している。
- ・令和3年度新規相談の相談内容に「保育教育」とあるが、具体的にはどういった内容か。
  - 保育園や児童発達支援事業所からの相談を対象としている。進路に関する相談も含まれている。
- ・相談から実際に支援につながったケースはどのくらいあるか。
  - 統計としての数字は把握していないが、肌感覚としては2、3割。
- ・成年後見人からはどういった相談を受けているか。
  - 対象者の親族が急死したため、グループホームへの入居調整を急いでほしいといった相談があった。後見自体の相談ではない。
- ・相談を受ける上で大変だったことは、どのような内容か。
  - 世帯全体に係る、経済的困窮から生じるトラブル。
  - 「働けない、年金が受給できない、生活保護が申請できない」場合。
  - 本人の特性により、当センターの相談員と関係が築けても、他機関とは関係性を作ることが困難な場合。

<構成員からの主な意見>

- ・相談者数の町別の振り分けでは、単純な数の比較ではなく、人口比もあるはず。また、件数が少ない町だからといって過小評価はできない。
- ・児童相談所や民生委員等、つなぎ先のデータもあるといい。連携の度合いが分かる。

(6) 令和5年度西・南エリア連絡会活動計画案  
資料に基づき説明 → 承認

(7) その他の協議事項

① 『居場所・進路先』の配布先について

- ・不登校やひきこもりの子の行き先等をまとめた冊子を当センターが作成した。
- ・令和2年度、不登校やひきこもりの相談が増加し、当センターとして、

居場所や進路先を把握する必要が出てきた。

- ・令和3年度、当センターの機能強化事業として、聞き取り調査を実施した。その後、西エリアのこども部会構成員の協力が得られたことから、以降はこども部会の活動として調査を継続した。
- ・令和3年度から4年度にかけて行った調査結果を、冊子としてまとめたものが『居場所・進路先』。ただし、聞き取った内容をそのまま文章化したことから、ニュアンスの違いがあるのではないかという懸念や、タイムラグによる現状との相違といった課題がある。
- ・配布先としては、相談支援に携わる関係機関としたい。懸念事項や課題もあることから、配布にあたり、希望される関係機関は当センターにお越しいただき、そこで取り扱いの説明を受けていただいた上で受け取っていただく予定。

#### <質疑応答>

- ・当冊子の配布にあたり、掲載されている学校等の了承を得ているか。  
→ 聞き取り調査の際に主旨を伝えているため、おそらく問題無いと思われるが、明確に了承を得ているわけではない。
- ・掲載されている学校は全てを網羅しているわけではないため、掲載校は一部であることを文面に載せた方がいいのではないかと。  
→ 載せていく。
- ・学校等における費用面の記載もあるが、変動している可能性もあるため、その旨を記載した方がいいのではないかと。  
→ 対応する。
- ・不登校やひきもりに関する市の支援は載せないのか。  
→ 今回は学校等に絞った。公の支援については、ご自身で調べていただく。
- ・児童養護施設にとっても有意義な冊子であり、構成員以外の機関にも提供したい。また、可能であれば、冊子が毎年内容を更新できるといい。  
→ 検討する。
- ・手をつなぐ育成会でも、「進路の手引き『道』」を作成している。こちらは2年に1度の更新となるが、当冊子と連携できるといいのではないかと。  
→ 検討する。

#### ② 当連絡会における当事者の参画について

- ・6月23日に、当連絡会の説明会を実施する。そのことについて、市協議会当事者部会にも周知するべきではないかとのご意見が、構成員のひとりから寄せられた。
- ・説明会の対象は新規の構成員向けであり、当連絡会活動に係る協議の場ではないことから、市協議会当事者部会への周知までは予定していない旨を当センターより説明した。一定の理解を得られつつも、当事者抜き

で決めていることに違和感があるとお考えが伺え知れた。

- ・当連絡会において、当事者の方々の参画や、そのご意見を伺うにあたり、どういった場が必要か、どういった形がいいのか、ご意見をいただきたい。
- ・なお、東エリア連絡会では当事者意見交換会の事例があるため、その事例を参考に、当連絡会版として検討していく予定である。

< 構成員からの主な意見 >

- ・当連絡会の活動は支援者寄り。当事者の声はあまり拾ってもらっていない。
- ・当事者の声をどう吸い上げていくか、仕組みづくりが大切。エリアというより、市として意見集約の仕組みを作った方がいい。
- ・障害者計画のパブリックコメントも形だけの印象。西・南エリアの当事者の困りごとを計画に反映してほしい。
- ・令和5年4月からの外出支援助成券の変更に関する説明も、直前の2月に聞かされたのでは声を上げることができなかった。

### 3 その他

< 構成員からの主な意見 >

- ・（入所施設である）四季の郷は、山に囲まれた立地で、防災の面で危機感を持っている。付近の堤防沿いの木の伐採を市に依頼したが、予算的に難しいとの回答だった。市に頼るだけでなく、当エリア構成員が一緒になってまとまりながら、課題を共有していきたい。
- ・当事業所には、施設通所支援に関する利用者からの問い合わせが数多く入っている。外出支援助成券の変更により対象外となったことで、困惑されている方が多い印象。

### 4 閉 会

浜松市西・南障がい者相談支援センター 古澤 則仁

以上